

経営革新支援事例

津商工会議所

【企業概要】

事業所名：大谷はきもの店
業種：小売業（はきもの小売）
従業員数：0人
支援内容：販路開拓・経営革新支援

【支援に至った背景～経緯】

安濃津ばきの販路開拓支援で窓口相談。その際、既存取引先からの共同による商品開発の打診について相談をうけたことから支援に至った。

【支援の経過】

- 平成25年12月 意匠登録に関する専門相談支援を行った。
- 平成26年1月 販路開拓支援で窓口に来所。
- 平成26年1～3月 トライアル補助金を活用し新商品開発を支援
- 平成26年6月 新商品化に伴い経営革新計画の承認支援を行った。

【支援のポイント】

新商品開発は、リスクを伴う場合があるため開発費の軽減を図ることで、思い切った試みが可能となり、経営者の意欲を後押しすることができた。また、経営革新計画にチャレンジすることで、より具体的な売上目標が明確になった。

【支援の効果・成果】

- トライアル補助金の活用により試作品を作成できたことで新商品を開発することができた。
- 経営革新計画の承認を得ることができた。



新商品・・・東北地域の販路に開拓するための草履の室内履きを考案。自社の主力製品である「安濃津ばき」のクッション性と底面を改良したことで、従来の素足で履く心地よさとパたつかない静粛性を備えた商品となった。

【支援企業の声】

新商品開発に不安もあったが、三重県や商工会議所の支援もあり、試作品開発に取り組むことができた。大変苦勞もしたが、結果的に室内履き専用の「安濃津ばきルーム」を発売することができた。全国の物産展や三重テラスで好評を得ているので、取り組んでよかった。今後は、地元津市の物産品としても販路を拡大したいと考えています。